

日本国際平和構築協会 京都国際平和構築センター

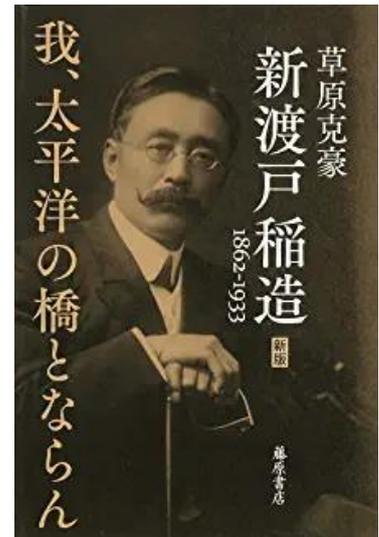
共催

第3回 オンライン・ブックレビュー

草原克豪著『新渡戸稲造 1862-1933 我、太平洋の橋とならん』

2021年6月19日(土)20:00-21:30(日本時間)

新型コロナウイルスの猛威が世界の国々を同時多発鎖国に向かわせる中、一方には急激な経済技術成長を誇り、「一帯一路」のかけ声の中に覇権主義が垣間見える国、一方には「自由と民主主義」という美しい、しかしややほころびを見せる旗を掲げ、世界のリーダーの立場を維持せんとする国が対峙し、新しい冷戦の兆しが見える。今、わが日本はいかなる態度を取るべきか、が問われている。このような事態にあって、若くして「我、太平洋の橋とならん」との志を立てて日本人で最初の国際公務員となった新渡戸稲造なら、どのように答えたであろうか。彼が英文で世に問うた”Bushido-The Soul of Japan”は、ルーズベルト大統領の愛読書となり、日露戦争の終結にも貢献した。新渡戸が追求したのは、東西の相互理解と世界の恒久平和であった。今日のグローバル化した世界において平和で持続可能な社会の構築こそは我々に課せられた重大な課題である。そのためには学者や文化人はじめ幅広い分野の専門家の知恵を結集して取り組む必要がある。国際連盟事務次長として新渡戸が幹事を務めた国際知的協力委員会の理念は以前にも増して重要になっている。幕末に生まれ、明治・大正・昭和の3代を全力で生き抜き、日本を国際社会の名誉ある一員としようとした新渡戸稲造に学ぶことは多い。本ライブラリートークでは、国連機関(UNESCO)、行政(文部省)、大学(拓殖大学)で活躍し、国際人の先達としての新渡戸稲造の生涯を余すことなく描き出した『新渡戸稲造 1862-1933』(藤原書店、2021)の著者・草原克豪氏を囲み、我が国の行く末を共に考えたい。



## プログラム

- |             |  |
|-------------|--|
| 19:50       | オンライン開場                                  |
| 20:00-20:05 | 開会のあいさつと著者の紹介(井上健 日本平和構築協会 副理事長)         |
| 20:05-20:45 | 草原克豪氏による『新渡戸稲造 1862-1933 我、太平洋の橋とならん』の紹介 |
| 20:45-20:50 | 山本忠通元ユネスコ大使                              |
| 20:50-20:55 | 鈴木 佑司理事長ユネスコ協会連盟理事長                      |
| 20:55-21:00 | 質疑応答と意見交換(モデレーター、長谷川祐弘 日本平和構築協会 理事長)     |
| 21:30-21:35 | 次回の案内                                    |
| 21:35-21:40 | 終了                                       |
- 発表者・著者



### 草原克豪(くさはらかつひで)氏の略歴

1941年北海道生まれ。東京大学教養学部卒。1967年文部省に入省後、コーネル大学経営行政大学院留学(MBA)、ユネスコ本部勤務を経て、大臣官房人事課長、大臣官房審議官(高等教育局担当)、生涯学習局長等を歴任した後、拓殖大学北海道短期大学学長・兼拓殖大学副学長を務め、現在は拓殖大学名誉教授。その間に日本ユネスコ国内委員会委員、日米文化教育交流会議委員、日米教育委員会(フルブライト委員会)委員などを歴任し、現在も(一財)英語教育協議会理事長、(公社)日本空手協会会長、(公財)合気会理事として活躍中。主な著書に、『近代日本の世界体験』(小学館スクウェア)、『日本の大学制度』(弘文堂)、『大学の危機』(弘文堂)、『新渡戸稲造はなぜ「武士道」を書いたのか』(PHP新書)、『武道文化としての空手道』(芙蓉書房出版)、『新渡戸稲造 1862-1933』新版(藤原書店)。

### パネル討論者



### 山本 忠通(やまもと ただみち)

日本の外交官、国際公務員。外務省総合外交政策局企画課長、北米局北米第一課長、在大韓民国日本大使館公使、在米大使館特命全権公使、広報文化交流部長、在ユネスコ政府代表部特命全権大使、アフガニスタン・パキスタン支援担当政府代表等を経て、日本人として3人目の国際連合事務総長特別代表に就任し、国連アフガニスタン支援ミッション代表を務めた。京都国際平和構築センター評議員。



### 鈴木 佑司(すずきゆうじ)

東京大学法学部卒業、同大学院博士課程中退後モナッシュ大学(オーストラリア)、インドネシア大学、マラヤ大学(マレーシア)講師を経て東京大学国際関係論で非常勤、1983年から法政大学教授。ジョンスホプキンス大学客員教授、全米社会科学評議会評議員、日本平和学会会長、日本政治学会、日本国際政治学会等の理事、ユネスコ協会のアジア連盟、世界連盟の会長を歴任、現在日本ユネスコ協会連盟理事長、京都国際平和構築センター評議員。

[参加を希望される方は、このリンクよりお申し込みください。](#)